

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成22年2月12日 (2010.2.12)

【公開番号】特開2008-153402(P2008-153402A)
 【公開日】平成20年7月3日 (2008.7.3)
 【年通号数】公開・登録公報2008-026
 【出願番号】特願2006-339204(P2006-339204)
 【国際特許分類】

H 0 1 L 21/027 (2006.01)

G 0 3 F 7/20 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/30 5 1 6 D

G 0 3 F 7/20 5 2 1

【手続補正書】
 【提出日】平成21年12月15日 (2009.12.15)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基板を露光する露光装置であって、
 基板を保持する基板保持部と、
 基板の露光時間を制御するシャッタと、
 前記シャッタの動作を制御する制御部とを備え、
基板の適正な露光量は、前記基板保持部によって保持された基板及び前記基板保持部からの反射光の強度に依存し、

前記制御部は、前記基板保持部によって保持された基板及び前記基板保持部からの反射光の強度に相関のある情報に基づいて前記シャッタの動作を制御する、
 ことを特徴とする露光装置。

【請求項 2】

前記反射光の強度に相関のある情報は、基板上のショット領域の面積に関する情報、基板の反射率に関する情報、及び、前記基板保持部の反射率に関する情報を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の露光装置。

【請求項 3】

前記制御部は、更に、既に露光がなされたショット領域に対する露光量に基づいて前記シャッタの動作を制御する、
 ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の露光装置。

【請求項 4】

前記制御部は、前記シャッタの速度を制御することを特徴とする請求項 3 に記載の露光装置。

【請求項 5】

基板に対する露光量を検知する露光量センサを更に備え、
 前記制御部は、第 1 モードでは、前記露光量センサの出力に基づいて前記シャッタを閉じるタイミングを制御し、第 2 モードでは、前記反射光の強度に相関のある情報に基づいて前記シャッタの動作を制御する、
 ことを特徴とする請求項 1 に記載の露光装置。

【請求項 6】

デバイス製造方法であって、
感光剤が塗布された基板を請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の露光装置を用いて露光する工程と、
該露光された基板を現像する工程と、
を含むことを特徴とするデバイス製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の 1 つの側面は、基板を露光する露光装置に係り、前記露光装置は、基板を保持する基板保持部と、基板の露光時間を制御するシャッタと、前記シャッタの動作を制御する制御部とを備え、基板の適正な露光量は、前記基板保持部によって保持された基板及び前記基板保持部からの反射光の強度に依存し、

前記制御部は、前記基板保持部によって保持された基板及び前記基板保持部からの反射光の強度に相関のある情報に基づいて前記シャッタの動作を制御する。